

計画期間

平成18年12月1日 ~ 平成23年3月31日

学校教育目標

お互いの良さを認め合い、自らを創り出す喜びを感じる子の育成に努めます。

・学び合う子 ・個性を發揮しようとする子 ・健やかな心と体をつくる子

学校経営方針

1. 学校教育目標の実現と学校の危機管理体制の充実に向け、教職員相互が啓発・連携し合い、適正にして、活気あふれる学校組織の確立と運営に努める。
2. 児童をかけがえのない存在・自ら成長していく存在・主体的に生きていく存在として認識し、「生き方教育」の実現に向けた特色ある教育課程の運営・改善に努める。
3. 児童、保護者、「まち」の人々の思いや願いを積極的に学校教育に生かしていくなど、教育に携わる公務員として社会の要請や信頼に応えるよう、教職員の研修の充実と資質・能力の向上に努める。
4. 児童を社会全体で育むという認識に立ち、家庭・「まち」・関係機関との連携協力による学校づくりに努める。

指導の重点

1. 学び合い・・ 多様な価値観を生かし、学び合う学習
2. 個性・・ 個性を發揮し、伸ばす学習
3. 心と体・・ 自ら心と体を、すこやかに育む学習

改革の必要性

子ども達が楽しい学校生活を送るうえで、「安心」「安全」の取り組みは、もっとも重視しなければならない事項です。その為にもより一層充実した取り組みを図っていく必要があります。

取組目標

- ・ 平成19年度中に、「学援隊」の組織を立ち上げ、活動を開始します。
- ・ 現在「こども110番」に、47軒の団体や家庭が協力していただいておりますが、平成21年度末迄には、協力団体や家庭を100軒迄に拡げていきます。
- ・ 地域、学校、保護者一体となった取り組みに向け、定期的な話し合いの場を設け、安心・安全のシステムを平成20年度には構築します。
- ・ 地域の安全マップの作成・見直しを学校・保護者・児童一体となって年一回定期的に行います。

<p>子ども達の「読解力」の低下が指摘されています。本校においても、「読書」に親しむ習慣化を目指した活動や環境の整備を図っていく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の協力のもと行っている、「読み聞かせ」活動を平成19年度以降も、全学年を対象に引き続き実施して行きます。 ・ 朝の「読書タイム」を平成19年度より「火、木、金」の三日に拡大し、読書の習慣化に向けての取り組みを充実させます。 ※月曜日は朝会、水曜日はみんなで遊ぼうを実施。 ・ 誰もが使いやすい図書館の充実を、保護者の協力を仰ぎながら進めていきます。
<p>子ども達の体力の低下が叫ばれています。本校においても「体力の向上」に向けて新たな活動を取り入れていく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成18年度に引き続き、19年度以降も体力テストを実施し、児童の体力運動能力の実態に基づいた指導を行っていきます。 ・ 体力向上の対策の一つとして、日常的に外での遊びを積極的に奨励するため、市スポーツ事業団の方にご来校いただき多様な外遊びの指導を受ける機会を積極的に設けます。 ・ 新しいスポーツ競技を導入することによって、児童が身体を動かすことにより積極的になるよう、「タグラグビー」を授業に取り入れます。その為に平成19年度以降も、横浜ラグビー協会より指導を仰ぎます。
<p>人と人のふれあいや、地域との関わりが少ないとの指摘がなされています。兄妹学級や地域の人々との交流を、学習や活動を通して行っていく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校「あいさつ」運動に取り組み、平成20年度より校内だけではなく、学校・家庭・地域一体とした運動へと広げて行きます。 ・ 保護者だけではなく、地域の方々を含めた教育ボランティアを、教科学習や各種教育活動に積極的に導入していきます。 ・ 平成19年度より地域清掃活動を、学年や縦割り学年を単位にして試行的に実施し、平成20年度からは、定期的を実施します。 ・ 品濃町秋祭りに、学校としても参加し、地域の活動に積極的に係わり、地域の学校としての存在をより一層高めて行きます。 ・ 地域の人々の力を借りて、「昔遊び」等の伝承遊びの学習を実施します。
<p>既存の学習環境を見直し、開かれた学校づくり、学びやすい学習環境の視点から、学習環境整備に取り組んでいく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境整備の一環として、校内ランの整備を平成19年度に行い、平成21年度までには、全教室にPCを設置します。 ・ 郷土資料室を再整備し、地域ボランティアの人々と協力し、平成21年度には、授業での活用だけではなく、地域の人々にも定期的に郷土資料室を開放し、地域の人々にも活用して

	<p>もらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室の暑さ対策の一環として、平成21年度までに全ての教室に扇風機を設置し、より良き学習環境の整備に取り組んでいきます。
<p>21世紀に生きる児童にとって、視野を外に向けていくことは、大切なことです。その為にも国際理解教育の充実を図っていく必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベトナムの小学校との作文や絵画、学校の活動の様子等の「交流」を平成19年度より試行的に行い、平成21年度までには、交流を定着化させます。 ・ 英語教育に係わる学習時間を平成19年度には、低学年は年間20時間、中・高学年には年間25時間年間実施し、英語や外国の文化に親しむ学習の充実に努めます。 ・ 国際理解教育の充実を図ることを目的に、教育ボランティアの協力を仰ぎながら、国際理解クラブをつくります。

<p>人材育成の考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若手職員の育成を図るため、中堅職員が中心となった日常的な授業公開を積極的に行うなどし、若手職員の力量の向上に努めます。 ・ 今後もより積極的に外部講師を招いての校内授業研究会等を実施し、職員の授業力や児童理解力の向上に努めます。 ・ 主幹教諭を中核のもと、職員一人ひとりが責任ある役割を担い、その分野に精通できる力をもてるように努めます。 軽度発達障害児の指導に対応するため、特別支援コーディネーター以外の職員にも、年1回は委員会主催の研修会や関係機関の研修に積極的に参加させ、指導者としての力量を高めていきます。
<p>平成20年度の重点取組項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は夏休みの前後に、多数の転入生を受け入れる予定があります。そこで年度当初から校内の環境整備と体制作りに努め、混乱のないようにしていきます。 ・ 学習では、基礎的な知識や技能の確実な定着を目指します。 ・ 昨年度発足した「品濃小学校学援隊」の隊員を増やし、校内及び学区内のより一層の安全確保に努めます。 ・ 体力向上のため、夏期水泳教室と区水泳大会への積極的な参加の呼びかけをします。 ・ 「あいさつは、目を見てはっきり、自分から」を合い言葉に、今年度も全校「あいさつ運動」を継続し、あいさつを家庭、地域へも広げていきます。
<p>これまでの取組結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「品濃小学校学援隊」の組織を立ち上げ、活動を開始しました。 ・ 児童と保護者も図書展示会に赴き、図書の選定に参加し、読書活動の充実を図りました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境整備の一環として、校内ランの整備を行い、全教室にPCを設置しました。 ・ ベトナムの小学校との国際交流を開始し、学校の様子を知らせたり、作品の交換をしたりしました。 ・ 全校たてわり班活動充実させ、児童相互や児童と教職員の豊かな人間関係づくりに努めました。
<p>学校づくり懇話会の 意 見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちのあいさつが上手になってきた。地域の大人にもあいさつを広げていくことが地域の防犯にもつながる。安心、安全な町づくりのためにも、あいさつ運動を広げていきたい。 ・ 子どもたちに、積極的に、地域の行事に参加してもらいたい。 ・ 学校の交通安全教室で、学習した「安全な歩行」「安全な自転車走行」が、日常生活の中で生きておらず危険な場面を見ることがあった。身についていかないと学習した意味がない。学校や家庭でも指導してほしい。